



家庭ごみ有料化 及び 戸別収集 の実施についての 市民説明会

平成30年9月

小平市環境部資源循環課



目次

- (1) 家庭ごみ有料化の実施
- (2) 戸別収集の実施
- (3) 新しい資源とごみの出し方
- (4) 今後の主なスケジュール
- (5) よくある質問



(1) 家庭ごみ有料化の実施



(1) 家庭ごみ有料化の実施

① 実施の経緯

- 小平市ではこれまで、資源化品目の拡充や、リサイクルきゃらばん、食物資源循環モデル事業、小型家電回収、ごみ分別アプリの配信など、ごみ減量のためのさまざまな取組を進めてきました。そうしたことから、市民の皆様のご協力を頂き、小平市のごみは、わずかながらではありますが、年々減少し続けています。
- しかしながら、日の出町にある最終処分場の延命化や、老朽化が進んでいる各ごみ処理施設を、ごみを最大限減らした上で、必要最小限の施設規模と負担で更新を進めていく必要もあることなどから、ごみ減量にもっとも効果がある家庭ごみ有料化の実施を判断したものです。

(1) 家庭ごみ有料化の実施

② 実施の目的

❖ 意識の変化によるごみの減量や3Rの推進

- 家庭ごみ有料化に伴い、ごみ処理手数料を負担することから、日常生活の中で、ごみをなるべく出さないようにする意識が生まれ、ごみの減量や分別・資源化の徹底が定着することで、3Rの推進を図ります。

※ 3Rとは、

- 第一に、リデュース (Reduce : 発生抑制)
 - 第二に、リユース (Reuse : 再使用)
 - 第三に、リサイクル (Recycle : 再生利用)
- の総称です。



(1) 家庭ごみ有料化の実施

❖ 負担の公平性の確保

- ごみ排出量に応じて費用負担が変わる仕組みとなることで、ごみを減らす努力をした場合には、負担が軽減されることとなります。ごみを多く出す人と少なく出す人の間の、負担の公平性を確保することで、ごみの減量や、分別・資源化の徹底に取り組む意欲の向上を図ります。

❖ ごみ処理に係る経費の削減

- 家庭ごみ有料化の実施により、ごみが減量すれば、収集や処理に係る経費を削減できます。また、今後の各ごみ処理施設の更新に際しては、施設の規模をより小さくすることができ、施設周辺住民の負担軽減や、建設費・維持管理費などの削減を図ることができます。

(1) 家庭ごみ有料化の実施

③ 実施時期

- 平成31年4月1日(月)から実施します。

④ 有料で収集する品目

- 燃やすごみ
- 燃やさないごみ
- プラスチック製容器包装



指定収集袋に入れてお出してください。

※プラスチック製容器包装とは、洗剤のボトルやお弁当のパック、食品のトレイといったような、プラスチック製の、プラマーク  がついた容器や包装のことです。

(1) 家庭ごみ有料化の実施

⑤ 無料で収集する品目



- プラスチック製容器包装以外の資源
(ビン、カン、ペットボトル、紙類、段ボールなど)

出し方 透明または半透明の袋に入れる、ひもで束ねるなど、これまでと変わりません。



- ボランティア清掃で回収されたごみ

出し方 持ち帰っていただき、きちんと分別のうえ、透明または半透明の袋に入れ、市で配付するシールを貼付し、品目毎の収集日にお出しく下さい。



- 紙おむつ (ペット用は除く。)

出し方 それだけを透明または半透明の袋に入れ、燃やすごみの収集日にお出しく下さい。袋をバケツなどに入れてお出しいただくことも可能です。



- 枝木や草葉

出し方 1本の直径が10cmまでの枝木は、長さ50cm未満・直径30cm未満の束にし、1回に5束まで、草葉はそれだけを透明または半透明の袋に入れ、1回に5袋まで、燃やすごみの収集日にお出しく下さい。

(1) 家庭ごみ有料化の実施

⑥ 指定収集袋の種類と手数料額

袋の種類	袋のサイズ (容量)	1組 (10枚) の 手数料額
燃やすごみ用袋 (黄色)	特小 (5リットル)	100円
	小 (10リットル)	200円
	中 (20リットル)	400円
	大 (40リットル)	800円
燃やさないごみ用袋 (乳白色)	特小 (5リットル)	100円
	小 (10リットル)	200円
	中 (20リットル)	400円
	大 (40リットル)	800円
プラスチック製 容器包装用袋 (青色)	小 (10リットル)	100円
	中 (20リットル)	200円
	大 (40リットル)	400円

- 指定収集袋には、障がい者が手触りで判別できるような加工や、カラスからは中身が透けて見えない加工を施します。

(1) 家庭ごみ有料化の実施

⑦ 指定収集袋の購入方法

- スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどで、平成31年2月下旬から販売開始を予定しています。具体的な販売店舗については、1～2月頃に、市報や市ホームページ、ごみ出しカレンダー・パンフレットなどでお知らせします。

⑧ 指定収集袋のサンプルセット

- 平成31年2月頃に市内全戸に配布予定の、新しいごみ出しカレンダー・パンフレットに、指定収集袋のサンプルセットを同封しますので、種類やサイズをお確かめください。なお、サンプルセットの指定収集袋は4月以降、実際にご利用いただけます。

(1) 家庭ごみ有料化の実施

⑨ 減免措置

- 社会的な配慮が必要な世帯に対しては、一定の枚数の指定収集袋を交付し、手数料の一部を免除します。

対象世帯	指定袋の 交付枚数（年間）
生活保護受給世帯	燃やすごみ用袋・ 燃やさないごみ 用袋 合計100枚
児童扶養手当受給世帯	
特別児童扶養手当受給世帯	
国民年金の遺族基礎年金受給世帯	
中国残留邦人等支援給付受給世帯	
身体障害者手帳の1・2級である者が属する市町村民税非課税世帯	プラスチック製 容器包装用袋 50枚
愛の手帳の1・2度である者が属する市町村民税非課税世帯	
精神障害者保健福祉手帳の1級である者が属する市町村民税非課税世帯	

- 申請方法などについては、市報や市ホームページなどでお知らせします。

(1) 家庭ごみ有料化の実施

⑩ 手数料収入の使途

- 1世帯あたりの負担額は、平均で月額466円程度と、試算しています。
- 手数料収入は、家庭ごみ有料化及び戸別収集に伴う経費や、3Rの推進施策に限定して活用します。
- 収入と支出の見込み額（概算）

主な収入	
指定袋の売上	4億1,000万円

主な支出	
指定収集袋等の作成・管理等	1億8,000万円
指定収集袋等の販売手数料	3,600万円
ごみ・資源の収集運搬（戸別収集の実施による増加分）	2億700万円
合計	4億2,300万円

(1) 家庭ごみ有料化の実施

⑪ 実施後の評価と見直し

- ごみ量の推移や手数料収入額とその用途など、家庭ごみ有料化に関する情報は、定期的にお知らせします。
- 家庭ごみ有料化に関する評価については、適宜、小平市廃棄物減量等推進審議会に報告し、意見を取りまとめて公表します。
- また、一般廃棄物処理基本計画の見直しなどに合わせて、おおむね5年に1回の頻度で、制度の見直しについても検討します。

(2) 戸別収集の実施



(2) 戸別収集の実施

① 実施の経緯

- 近年では、集積所をめぐって、利用者間のトラブルや、管理に係る負担が一部の方に偏ってしまうなどの様々な問題が発生しており、市にも数多くのご相談やご要望が寄せられています。そのため、集積所の利用に係る課題の解決を優先し、戸別収集への移行を判断したものです。

② 実施の目的

- 排出者が明確になることによるごみ出しマナーの向上
- 高齢者や障がい者など、集積所へのごみ出しが困難な世帯へのサービスの向上
- 道路上の集積所の廃止による街の美観の向上
- 集積所の管理にかかわる地域社会の負担軽減

(2) 戸別収集の実施

③ 実施時期

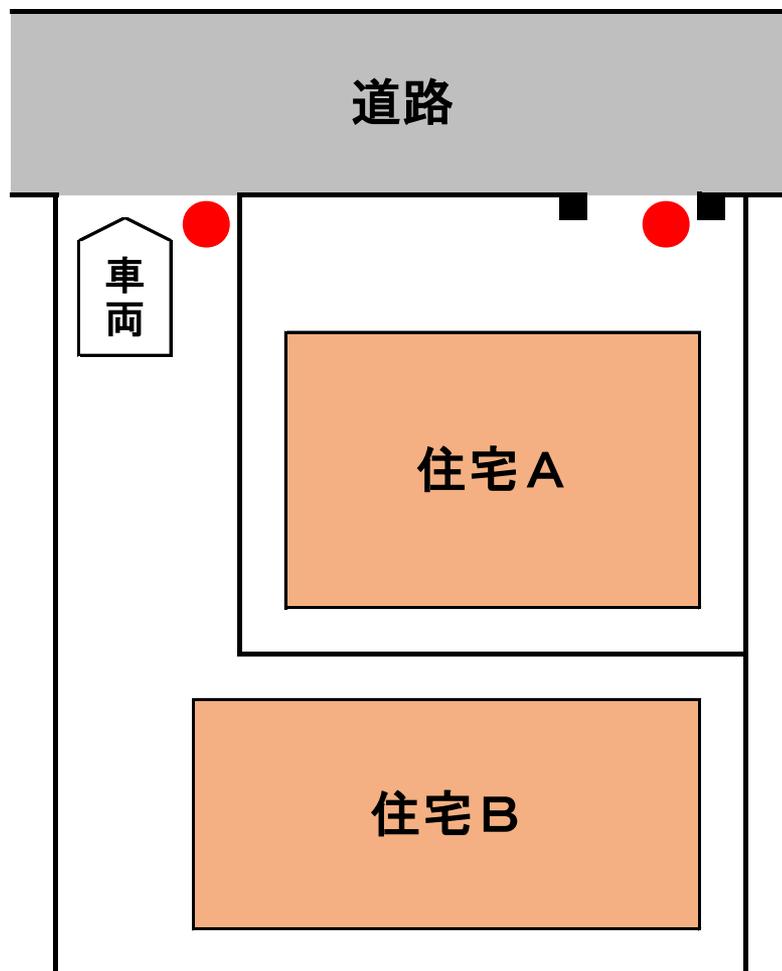
- 家庭ごみ有料化と同時に、平成31年4月1日(月)から、全ての品目で実施します。

④ 戸建住宅の収集方法

- 戸別収集実施後は、出入口や門扉、駐車スペースの脇など、ご自宅の敷地内で、道路際などの確認しやすい場所にお出してください。

戸別収集の排出場所の例

● …ごみ・資源の排出場所



(2) 戸別収集の実施

⑤ 集合住宅の収集方法

- 敷地内の専用集積所への排出に変更ありません。
- これまで敷地内に集積所を設けていなかった集合住宅は、新たに設けていただくこととなります。

⑥ 排出場所調査の実施

- 9月下旬頃から12月頃にかけて、戸建住宅の具体的な排出場所を特定する調査を行います。
- 市から委託を受けた収集運搬事業者が調査します。調査員は、身分証と腕章を携帯しています。
- 排出場所の希望がある場合は調査員にご相談ください。
- ご不在の場合は、排出場所を指定する手紙を投函しますので、ご確認ください。

(2) 戸別収集の実施

⑦ 収集の時間帯

- 収集の時間帯は、曜日やごみ量、交通事情などの様々な要因により、日ごとに異なります。
- 戸別収集実施後も、市内全体の収集に係る時間は、これまでと変わりませんが、収集経路が変わるため、個々の世帯で見ると、収集の時間帯がこれまでと変わる場合があります。

⑧ 集積所跡地の取扱い

- 市が所有する集積所は、隣接の公園用地への転用など、有効活用に努めるほか、希望者への売却などについて、個別に検討していきます。

(3) 新しい資源とごみの出し方



(3) 新しい資源とごみの出し方

① 新しい収集スケジュール

- 各ごみ処理施設への搬入量や搬入車両台数を日によっての偏りをなくし、平準化するため、現在は東西2地区に分けている収集の地区割りを、**5つの地区に細分化し**、地区ごとにごみ出しカレンダーを作成します。
- 収集作業の効率化、収集経費の増加の抑制、ごみの減量を図るため、**収集頻度の見直し**を行います。

品目	現在の収集頻度	変更後の収集頻度
燃やすごみ	毎週2回	毎週2回
燃やさないごみ	毎週1回	4週に1回
プラスチック製容器包装		毎週1回
プラスチック製容器包装以外の資源		2週に1回

(3) 新しい資源とごみの出し方

❖ 燃やさないごみの減量

- 小平市の燃やさないごみの量は、近隣の自治体と比較して、非常に多いという現状があります。家庭ごみ有料化の実施による**発生抑制**と、以下のような、**分別・資源化の徹底**により、燃やさないごみの量を、大きく減らせるよう取り組んでいきます。
- ✓ がついているものは資源（プラスチック製容器包装）に分別すること。ただし、汚れが落ちない場合は燃やすごみに分別すること。
- ✓ 小型家電は市役所や東西市民センター、各図書館などに設置している回収ボックスに持っていくこと。
- ✓ 陶磁器食器類はイベントでの回収に持っていくこと。

(3) 新しい資源とごみの出し方

② 分別変更

- 平成31年4月1日(月)から、一部の品目について、分別区分が変更となります。
- 変更後の分別区分については、平成31年2月頃に市内全戸配布する新しいごみ出しカレンダー・パンフレットでもご案内しますので、ご確認ください。

❖ ペットボトル

部分	現在の分別区分	変更後の分別区分
ボトル 	ペットボトル	 ペットボトル
ラベル 	※ラベルは、はがさなくてよい。	 プラスチック製容器包装
キャップ・フタ 	プラスチック容器	 ※ラベルもはがす。

(3) 新しい資源とごみの出し方

❖ プラスチック製容器包装 (♻️がついているもの)

種類	現在の分別区分	変更後の分別区分
・ 硬質のもの (ボトル、弁当容器、キャップなど)	プラスチック容器	プラスチック製 容器包装 (※平成31年4月1日からは、 全て資源化処理を行います。)
・ 軟質のもの (お菓子の袋、レジ袋など)	燃やすごみ	
・ 発泡スチロール	燃やさないごみ	燃やすごみ
・ 汚れが落ちないもの (納豆のパック、調味料のチューブなど)	燃やさないごみ	



硬質のもの
(ボトル、弁当容器、
ペットボトルのキャップなど)



軟質のもの
(お菓子の袋、レジ袋、
ペットボトルのラベルなど)



汚れが落ちないもの
(納豆のパック、調味料のチューブなど)

(3) 新しい資源とごみの出し方

③ 資源の店頭回収

- スーパーマーケットなどの小売店と連携し、自主的な、資源の店頭回収を推進するため、回収ボックスの設置や拡大について、各小売店に働きかけを行っています。
- 資源の店頭回収などの3Rへの取組を行っている小売店の一覧を、市ホームページに掲載しています。また、平成31年2月頃に市内全戸に配布する、新しいごみ出しカレンダー・パンフレットにも掲載する予定です。
掲載店舗を積極的に利用し、**お買い物の際には、資源を持参して、小売店に返すリサイクルにご協力ください。**

(3) 新しい資源とごみの出し方

④ 不法投棄と不適正排出への対応

- 不法投棄への対策のため、警告看板の設置や見回りパトロールなどの取組を強化し、警察とも連携しながら対応していきます。
- 指定収集袋に入れられていない、分別がきちんとされていない、出す日が違っているなどの不適正なごみ出しがあった場合には、これまでどおり収集はせず、収集できない理由を示したシールを貼付します。また、排出者に対しては、積極的なごみ出し指導を行います。
- アパートやマンションの場合には、所有者や管理人に連絡をする他、住人に対しては、ごみ出しパンフレットやお知らせ文書のポスティングなどの対応を図ります。

(3) 新しい資源とごみの出し方

⑤ 新しいごみ出しカレンダー・パンフレットの配布

- 新しいごみ出しカレンダー・パンフレットについては、指定収集袋のサンプルセットなどを同封し、平成31年2月頃に、市内の全ての世帯に配布します。

4月		平成31年 2019 April		A地区		中島町・栄町・小川町1丁目 小川西町・たかの台	
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
	1 プラスチック製 容器包装	2 燃やす	3 有害性資源 ビン	4 新聞 段ボール	5 燃やす	6	
7	8 ペットボトル	9 燃やす	10 カン	11 新聞 段ボール	12 燃やす	13	
14	15 プラスチック製 容器包装	16 燃やす	17 有害性資源 ビン	18 新聞 段ボール	19 燃やす	20	
21	22 ペットボトル	23 燃やす	24 カン	25 燃やさない 古布	26 燃やす	27	
28	29 プラスチック製 容器包装	30 燃やす					

※デザインや収集スケジュールは、実際とは異なります。

(4) 今後の主なスケジュール



(4) 今後の主なスケジュール

時期	内容
平成30年9月～ 平成30年12月	戸別収集の実施に伴う資源とごみの排出場所調査
平成31年2月頃	新しい資源とごみの出し方・分別についてのカレンダー・パンフレット及び指定収集袋のサンプルセットの全戸配布
平成31年1月～ 平成31年3月	「新しい資源とごみの出し方・分別」などについての市報特集号の全戸配布（2回）
平成31年2月～ 平成31年3月	「新しい資源とごみの出し方・分別」などについての市民説明会の開催
平成31年2月下旬	指定収集袋の販売開始
平成31年3月～ 平成31年4月	「新しい資源とごみの出し方・分別」などについてのコールセンターの開設
平成31年4月～	小平市新リサイクルセンター及び小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設の稼働
	家庭ごみ有料化及び戸別収集の実施

(5) よくある質問



(5) よくある質問

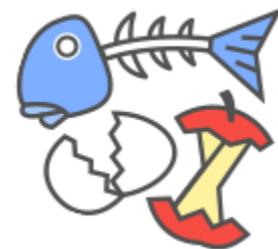
❖ ごみを減らす方法はこういったものがあるのか

- 燃やさないごみについては、21ページに記載のとおりですが、その他の主な方法は以下のとおりです。
- ✓ 名刺サイズ以上の紙類はリサイクルができますので、資源（雑紙）に分別する。
- ✓ 買い物の際はマイバッグを持参し、レジ袋は断る。
- ✓ また、簡易包装の商品を選び、食品は無駄なく購入し、使い切る・食べ切る。生ごみは水分をよく切る。
- 生ごみについては、3世帯以上のグループによる分別収集・堆肥化（食物資源循環事業）や、生ごみ処理機器購入費の半額補助、段ボールコンポスト講習会などを行っています。詳細は資源循環課までお問合せください。

(5) よくある質問

❖ カラス対策はどのように行えばいいのか

- カラスは色彩感覚が優れており、目で見てエサを判断することから、市が用意する燃やすごみ用の指定収集袋には、カラスには中身が透けて見えない加工を施し、カラス被害の軽減を図ります。
- また、更なる対策を行うという場合には、生ごみは水分をよく切って、新聞紙などで包み、カラスから見えないようにすることも効果的です。
- その他、美観やプライバシーの保護などのため、各自で必要に応じて、ネットやふた付きバケツなどをご用意いただき、それに入れてお出しいただくことも、カラス対策に効果があります。



(5) よくある質問

- ❖ 容器包装などの汚れは、どの程度とる必要があるのか
 - 水で軽くすすぐか、ぼろきれなどで拭き取ってください。多少の油分やにおいが残っていても資源化できますので、洗剤で洗う必要はありません。
- ❖ プラスチック製容器包装は細かく切って出していいのか
 - プラスチック製容器包装をつぶしたり細かく切ったりし、かさを減らしてお出しいただいてもかまいません。
- ❖ 集合住宅の住人への周知や説明はどのように行うのか
 - 集合住宅の所有者や管理人向けの説明会を行い、敷地内の集積所への案内の掲示などの協力を求めています。実施後も粘り強く、適正なごみ出しへの働きかけを行います。

(5) よくある質問

❖ 集積所のネットや看板はどのように処分すればいいのか

- ネットは燃やすごみに、看板は燃やさないごみにお出しく
ださい。家庭ごみ有料化実施後も一定期間は、それだけを
透明または半透明の袋に入れてお出しただけであれば、無料
で収集します。

❖ 集積所のボックスなどの処分は利用者が負担するのか

- 集積所で利用されていたボックスやかご、ストッカーなど
の処分は、粗大ごみとしてお申し込みください。戸別収集
実施後も一定期間は手数料を減免し、無料で収集します。
- 地面に固定されているものの取り外しや、大型のもの
の解体などは、利用者の皆様にて行ってください。
- 申請方法などについては、市報などでお知らせします。

**ご静聴ありがとうございました。
ごみの減量や3Rの推進に、
ご協力をお願いいたします。**

市では、地域にお伺いしての出前講座を行っています。
知りたいテーマや要望に応じた内容で実施します。
自治会や地域の集まりなどのグループでお申し込みください。

小平市環境部資源循環課（市役所4階）

電話番号：042-346-9535

小平市

「ごみ分別アプリ」

好評配信中

Android 端末用
(Google Play)



iPhone 端末用
(App Store)

